

ものと決しました。

陳情第9号「消雪パイプの設置を求める陳情」については、陳情の趣旨は理解できるが、市内の現状を見ると、冬期間の除雪など市民生活に不自由を来す場所が多数見受けられ、公平性観点から今回陳情に上がった件に限らず市内の現状を把握し、長期展望に立ち、全体の中で検討されるべきと考え、継続審査すべきものと決しました。

社会文教委員会

社会文教委員会に付託されました議案は、平成20年度一般会計決算の關係部分及び特別会計決算6件、平成21年度一般会計補正予算案の關係部分及び特別会計補正予算案

6件、条例案1件、事件案2件の合計20議案でした。

審査結果は、平成20年度飯山市一般会計歳入歳出決算の關係部分については賛成多数で、その他の陳情については、それぞれ原案のとおり全員一致で認定または可決すべきものと決しました。

陳情第11号「ヒブワクチンの早期定期予防接種等を求める陳情」及び、陳情第12号「肺炎球菌ワクチンへの公費助成等に関する陳情」については全員一致で採択すべきものと決しました。

なお、陳情第12号「肺炎球菌ワクチンへの公費助成等に関する陳情」の陳情項目には、飯山市としての対応もあげられており、今後、高齢者への肺炎球菌予防接種に對しての費用助成について、市民の健康福祉の向上につながるように市として検討されるよう意見を申し添えました。

人事案

議案第110号
教育委員会委員の任命に関する同意を求めることについて

(教育委員会委員の小山元彦氏が任期満了により退任)

《同意議決》
教育委員会委員
田中 妙子 (秋津)

議案第111号
固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて

(固定資産評価審査委員会委員の服部質氏が任期満了により退任)

《同意議決》
固定資産評価審査委員会委員
山本 寛 (岡山)

陳情審査

陳情第9号
消雪パイプの設置を求める陳情

新町区長 坂東 博志
《継続審査》

陳情第10号
家族従業員・女性の人権保障のため「所得税法56条の廃止を求める意見書」採択を求める陳情

須坂・北信濃民主商工会
飯山支部長 荻原 洋平
《不採択》

陳情第11号
ヒブワクチンの早期定期予防接種化等を求める陳情
陳情第12号
肺炎球菌ワクチンへの公費助成等に関する陳情

長野県保険医協会
会長 鈴木 信光
《採択》

管外視察報告

社会文教委員会

社会文教委員長 坂原シモ
平成21年7月1日～3日
山口県 光市
山口県 柳井市
広島県 廿日市市

山口県 光市

旧光市の市制50周年事業の一つ「おっぱい都市宣言」。平成6年3月に第1回「おっぱいまつり」を実施し、まつりの中で「おっぱい憲章」を制定。その後、医師会や女性団体などから平成6年12月に「おっぱい都市宣言」の陳情がある。名称についてセクハラにつながるなどの意見もあり継続審査となったが、平成7年3月定例会に議員提出の全会一致で「おっぱい都市宣言」を決議。

平成16年の合併により決議は失効したが、新光市の女性議員3名で新しい都市宣言として、合併2年目の平成17年6月定例会に議員提出、全会一致で決議。

○おっぱい都市推進プランについて

市内には産科2カ所・小児科が7カ所と多くあり、母乳育児率は全国30%だが光市は75%となっている。

「おっぱいまつり」は子育てイベントで、ボランティアを中心に行われ、遊び・体験などで親子のふれあいを楽しんでいる。今年で22回目の開催となり、若若男女問わず毎年2000人程の参加がある。

少子化の進行の懸念、核家族化や共働き世帯の増加、地域や家庭における教育力が低下するなど、子育てに対する不安感が増大している中、他に例のない「おっぱい都市宣言」のまちとして、これまでの取組みや充実した子育て環境を背景に子育て世代が暮らしたいと思えるまちづくりを進めている。

さらに、「おっぱい都市基本構想」を策定することにより、行政のみならず、地域や企業など社会全体で子育てを応援、支援している。



「早寝・早起き・朝ごはん運動」「パパの子育てノート」「パパ出番ですよ」などの事業にも取組まれ、「現在のお父さん像」に向けての発信、表現には引きつけられるものがあり、お父さんと一緒に子育てをしようという取組みは、すごく大切なことだと感じられた。



光市役所にて

山口県 柳井市

○いきいき笑顔すこやか生活かなえるプロジェクト
地域が元気であるためにはそこに住む人が健康な地域でなければならぬ。

市民一人一人が年齢、性別、ライフステージなどに応じて主体的かつ自由に参加できる仕組み作りを目指し、長期的に医療にかかるコスト低減も視野に入れ10年間の息の長いプロジェクトとして取り組んでいる。

○国保ヘルスアップ事業
平成18・19年度の国保と健康増進との連携事業。前年度の健康診断の要指導者の中から参加者を募集、生活習慣病対策を目的として実施。

参加者の意識変化がみられ、食事・体を動かす・記録など何らかの行動変化があり95%の方が終了後も維持している。

園芸療法にも取り組まれ、園芸セラピーとして心の健康に着目。ガーデニングにより肉体的・精神的に安らぎ、花作りという形で活動に取り組まれていた。



柳井市役所にて

広島県 廿日市市

廿日市市地域福祉計画(地域福祉活動計画)の策定
○地域における支え合いのしくみづくりについて

福祉活動を推進する体制をつくり、市民円卓会議における対話を継続的に開催。市民円卓会議は、市民センター(公民館)単位の「小さな円卓会議」、支所単位の「中くらいの円卓会議」、全市域単位の「大きな円卓会議」を目的に応じて開催、連携し運営。

○市役所における体制づくりについて
行政機能の充実、計画を継続的に進捗管理する体制の整備を21年度推進。新たな市役所の体制として整備。自治担当部局、福祉保健担当部局、支所、社会



廿日市市役所にて

福祉協議会などが横断的につながり、地域に関わっていくことにより地域福祉活動が加速していくことを確認。
市役所においても、分野を横につないでいく体制づくりを行っている。

今回視察をして、飯山市の各部署で行っている事業の整理、連携がとれているように感じられた。
これからは、家庭の教育力を高め、子どものしつけや食育も考えて、行政が一体となるよう縦割りではなく横につながって連携をし、「子育て支援」という目標に向かい、市民の理解しやすい事業を作り上げていくよう市に提案したい。